

2019 年度 9 回理事会 議事録

開催日時:令和 2 年 1 月 28 日(火) 16:00~17:15

開催場所:静岡商工会議所 401 会議室

出席者:(理事)森永春二副理事長(議長)、岸本道明、小林裕敏、北川幹根、齊藤弘幸、
白崎利哉、村松克己、渡邊治彦 (監事)上田和博、小谷勇

事務局:桜井俊秀

委任状:石井潔、稲葉豊穂、久保田光二副理事長、漆畑晃司、

オブザーバー出席:佐藤征教(静岡市商工部経済政策課参事兼課長補佐)、

前田憲吾(同課主事)、新庄大輔(同市総務局 ICT 推進課副主幹)

欠 席:(監事)吉兼正哲、(相談役)鈴木佐太郎 (以上、敬称略)

1. 開会

森永副理事長あいさつ(要旨)

今年も宜しく願い致します。ネズミ年で十二支の始まりということですんなりと始まると思いきや、ゴーンさんがすぐいなくなるやら、イランと米国の関係がおかしくなり、そうこうするうちにコロナウィルスの問題が生じて、今後パンデミックを引き起こすか懸念され、オリンピックも大丈夫かという話も出ている。月の後半は、アメリカ大統領選挙の話題や異常気象の問題も出てくる可能性もあったり、いろいろなことが起こる年だなということを年初から感じている。

静岡県内に目を向けると、年明けにトヨタが裾野にコネクティド・シティ(Woven City)という、いわゆる網の目のように張り巡らした情報ネットワークを構築した街を作るという構想を打ち出したものの、まだ中国には後れを取っているとも言われている。

浜松市では「デジタルシティ宣言」を出したが、それで何が変わるかという、これから協議会のようなものを作って諸々やっていくのだと思うが、まだ具体的にそこまで行っていない。

「スマートシティ」という言い方は以前からあったわけだが、このような「〇〇シティ構想」、もしくはそれを活用するツールとしては「5G」の商用化が始まっていくが、我々はITベンダーの業界としては、これからチャンスが巡って来るわけだが、へたをするとピンチになるかも知れない。チャンスを活かし切れた企業はどんどん成長するだろうし、上手く掴みきれなければピンチになる。

このようなことを考えると、我々が属する NPO というものは、「何を役割とすべきか？」ということ考えたほうが良いのかと思う。

我々が論議する中で、来年が30周年に当たるわけだが、その中でどのようなことをやるのか、ということを考えるとき、まずは「やるかやらないか」ということも含めて考えて行かなければならない。

我々業界団体の在り方、役割をもう一度考え、原点に戻る、もしくは新しい考えでやっていくのかを論議するタイミングなのかと改めて感じている。

私の個人的な見解としては、この業界団体というものは「羅針盤」のようなものと思えばよいのかと観ている。「どの方向に行くか」は、それぞれに企業が意思決定すればよい。但し、「こう

いう方向はこういう状況にある」あるいは「こういう方向に新しい技術がある」といったようなことを我々がうまく情報発信して行くということが、この NPO の役割ではないかと感じている。

いずれにしても、「情報を発信して行くということが、この時代において NPO としてやらなければならないことである」ということを感じており、30周年記念事業をどうするかということも含め論議する中で、NPO の存在意義あるいはコンセプトというものを改めて考えてみるタイミングかと思っている。

今年度3ヶ月を残すところになり、また4月から新しい年度が始まる中で、皆さんとこのようなことを論議して行ければと思っているので、引き続き宜しくお願い致します。

2. 議 事

(1) 報告事項

① 事務局報告

1) 海外研修事業に関する調査経過

- ・昨今のコロナウィルス問題により、先行きが不透明な状態になっており、それも視野に入れて検討する必要が生じている
- ・静鉄観光サービスに深圳市日中経済文化交流促進会の黄旭秘書長とのコンタクトを依頼したものの、今日まで進展はない
- ・2020 年秋を中心に実施時期を検討したい(国慶節を挟んで)
- ・深圳市の状況が思わしくない場合を想定し、他の研修先情報も調査を依頼するも旅行社としては限界がある⇒協会から具体的なメニュー提示が求められる
- ・今日の部会でも、ラスベガスの声もあったが、日数と費用の面で無理がありそうということになり、ベトナムという声もあった
- ・遅くも3月頃までには、候補地を絞り込んで確定させたい

(質問) 大手の旅行社にアプローチすることになっていたが？

(回答) まだそこに至っていない。コンペとして独自のメニューを出すことが困難との一部の声もあり、もう少し当方から内容を明示して提案を求めないとな前に進まないようだ

(質問) 他のプランの提示も求めたらどうか？

(回答) 深圳の状況が不透明であれば、そろそろ他の候補地の検討も必要かと思う。それも含めて、急いで検討し、他社も当たってみる

(質問) 深圳以外で「ここは」という候補地の推薦は？

(意見) アメリカ(ラスベガス等)は良いが、カネと日数がかかるのがハードルとなる。

Computex Taiwan ではどうか？ 6月なので、今からでは次年度事業として間に合わない。深圳のイメージで先行しており、方針転換が難しかった。

ここに来て、ウィルス問題などで再考が求められる状況になった。

日数的には4日間、金額は15～18万円程度で行けるところを候補とする。

アジアというと最近ではベトナムを思い浮かべるが、それではベトナムで何を見るかということになると、深圳のような驚きを持って観るようなところではない。

台湾も次々年度であれば、次年度の計画と並行して計画は可能。

深圳もそのうち復活の可能性はある。

在京の深圳事務所も、現状について明確に回答がないのが不安要素になっている。前回のガイド役、黄秘書長の存在が結果として好評を得たが、今回はまだ紘秘書長が関わってくれるかが見えていないし、黄さんのことや日米貿易摩擦やコロナウィルスの問題など不確定要素が多く判断に窮する。

遅くも3月までには結論を出したい(募集期間を見込む)。

(議長) 実施時期は、秋の期間で、4日間15～18万円の予算枠で、深圳であれば可能であるし、それ以外であれば、その枠の中で3月までの間に検討し、結論を出す。見つからなければ、深圳の状況が好転するのを見守ることもあるのか、または皆さんから候補地のアイデアをいただく、または旅行社に当たってみるということになるか。

他団体との相乗りも難しく、SIIA 独自のメニューに魅力がある。

(意見) 他地域の同業の協会などに海外研修の情報はないか？

(回答) その通りであり、心当たりは当たってみる。

(意見) 海外ではなく、国内という選択肢はないのか？

(回答) 理事会開会前に理事数名とそのようなことも話しており、決して否定的ではない。県内も含め面白いところはあるとの声もあった。

但し、会員企業の中には、海外研修を社員に対する「報奨」制度として組み込まれているところもあるので、このプログラムにはそのような魅力もあるという話はあった。

ただ、それが全てではないので、例えば海外と国内を1年おきにするなども考えられるのではないか。

(議長) 確かに、海外でなくても構わないが、確定したものではない。

ただ、深圳の現状を見るに、そのようなこと(国内)も考える必要はあるだろう。

他の情報産業協会の海外研修メニューを参考にするというご意見も確かにその通りであり、検討してみたい。事務局で調べさせ、その結果をみて再度論議する。

国内も視野に入れて考えてみたい。

(回答) 参加者を集めるには、ラスベガスのような候補は、日数や金額で難しいので、団体では実施は困難。

早めに手を打って、バリエーションを増やす中で、皆さんの意見を得ながら検討して行きたい。

(議長) NTT さんに伺いたい

(回答) イスラエルなど、候補はあげられるが…

(議長) この後も、新年会でも意見交換をしていただきたい。

2) その他

・静岡大学(HEPT)塩見教授と次年度「オブジェクト指向設計講座」の相談を1/15に行った。本日の部会でも、次年度の継続を確認したが、昨年度はその前年から受講者が微減しているので、部会にも次年度の受講者を少しでも増やすよう、早めの企画と告知をお願いしたところ。

- ・入会希望(次年度)(株)イースタイル＝葵区御幸町)
- ・入会希望(次年度)TOSEI(株)(田方郡函南町)
- ・退会届((一社)静岡県銀行協会＝令和2年3月31日付)

(議長) HEPT 様の講座は、次年度事業計画にも織り込み済みであり、総会に向けて部会の計画策定作業で引き続き論議をお願いしたい。

入会は、理事会の審査があるので、事前に代表者に面談を受けて頂くことになる。

(質問) 銀行協会の退会引き留めは難しいか？

(回答) 自由入会、自由脱退の原則により、退会の意思表示があったので引き留めはしていない。一般会員の会費を適用。

(議長) 入会希望(2社ともICT 会員)があることは良いこと。

(質問) 紹介者は必須か？

(回答) 「いらっしゃれば」ということで、特に必要はないが、その代わり面談を受けて頂く。

② 運営委員会報告

1) 人材育成・教育研修部会

a. 小学生向けプログラム教室実施報告

- ・開催日時: 12月21日(土)13:30～15:00
- ・会場: 中村学園静岡電子情報カレッジ
- ・受講人数: 5組(保護者同伴)
- ・受講料: 無料
- ・講師: (株)コサウエル講師(五十嵐様、佐伯様、永田様)
- ・アンケートでも好評を得た

b. 第2回会員ニーズセミナー「スマホ決済の市場について」

- ・開催日時: 令和2年2月10日(月)15:30～17:30
- ・会場: 静岡市産学交流センター 7F「大会議室」
- ・募集人数: 50名 (現在 22名…30名程度は見込める)
- ・受講料: 無料
- ・講師: 一部「スマホ決済の市場について」池田和弘氏
(SBS・静岡新聞総合メディア局企画部)
二部「PayPayの静岡での取り組みと展望」
小澤淳一氏(PayPay(株)営業統括本部
営業本部中部第一ブロック静岡拠点長)

c. RPA 入門講座

- ・開催日時: 令和2年2月14日(金)10:00～17:00
- ・会場: B-nest(静岡市産学交流センター)
- ・募集人数: 20名 (現在、8名申し込み)
- ・受講料: 無料
- ・受講対象は、総務経理部門等の実務担当者とする

2)ビジネス・マッチング部会

a. Kintone Café 静岡(サイボウズ Kintone セミナー)

- ・開催日時:令和2年2月20日(木)13:30~19:30
- ・会場:静岡商工会議所 403 会議室
- ・講師:(スピーカー)キャットクラウド
- ・協力:(株)トムス、(株)静鉄情報センター
- ・静岡商工会議所と連携(月刊誌 Sing2 月号別冊に告知掲載)
現在、14名の応募があり、まだ増加の見込み大(調整が難しい)

b. 第2回会員ニーズセミナー「会員交流会」

- ・人材育成・教育研修部会と連携
- ・開催日時:令和2年2月10日(月)17:30~19:00
- ・会場:ホテル・シティオ 2F「駿」
現在、15名参加予定、今後増加の見込み

3)人材開拓推進部会

a.「中途採用セミナー」開催の検討

- ・現在、部会内でニーズ調査中

b.「Web セミナー 新卒のかんづめ」のフォローメニュー(QRコードをチラシに付し、各大学関係者に配布し、Web視聴の拡大を目指している。

次年度も、新卒の缶詰の採用を検討しているが、その場合、本年度参加社は無償であったが、次年度は一部有償化を検討されるよう部会に要望した。

(質問) Kintone セミナーには、技術的に不案内な物の受講も可能か？

(回答) セミナーは二部構成になっており、特に一部は「Kintone って何？」というテーマで広く聴講を受け付けているので、何ら問題はなく、二部も詳しいメンバーと助け合いながらアプリづくりが体験できるので、遠慮なく参加いただきたい。

(質問) スマホ決済セミナーは、会議所からの告知はないか？

(回答) タイミングと適切な手段がなかったが、他の団体等を通じて告知してある。
今後は、会議所の情報拡散機能を活かして行きたい。

(議長) 会議所には「メルマガ」があるはずなので、それを活かすことで協力をいただいたらどうか？

(回答) 会議所の担当者が異動になったが、新しい担当者と連絡を取り、次年度は情報拡散を充実させたい。このことは、例えば HEPT 様や自治体、他地域の協会などとの情報交流にも務め、情報の輪を広めて行くことを試みている。

(2) 協議事項

1) 次年度事業計画

- a. 事業
 - ・創立(任意団体時代と通算)30周年の年
 - ・会員拡大とSIIA存在理由の確認
 - ・新たな事業展開(時代に即した事業)の検討
 - ・他団体等との連携(商工会議所、近隣地域の団体等)
 - ・会員交流の機会の拡大(例:「定例会」を年に数回開催)
- b. 体制
 - ・部会メンバーの更新と増強

(追加説明)

若手部課員からも SIIA の存在意義や存在理由を尋ねられることもあり、大変良いことであり、今後も考えて行きたい。

まずは、会員同士の交流の機会を増やし、足元を固めながら他地域の同業団体との交流の実現も目指すことを検討している。

(議長) 30周年事業についてどのようにすべきか、いろいろな考えがあろうが、2020年度の事業にどのように取り込むかを今年度中に決めなければならないが、今のところ特別なことを行う予定もなければ予算措置もない。

(意見) 予算もなければ、総会を「30周年記念」などの「冠」を付して行うのも良いのではないか？

(質問) 20周年等の事業は行っているか？

(回答) 特にはないが、最初の頃記念誌を発行している。そのようなことは予算がかかり過ぎて現状は無理だが、画像データ化してHPに掲載程度は可能。温故知新の資料にはなるが、そこにあまりおカネをかけるべきではないと考える。ただ、創始の精神を伝える意義はあるので、カネのかからない方法を考えたい。

(議長) 東部の協会の歴史は？10年以上か？

(回答) 特に記念事業の実績はない。

(議長) 特別予算もない中で、カネをかけずに考えて行きたい。

(説明) 今後、「会員交流」の機会を増やすことは実行したい。入会の動機も「交流を求める」声があり、会員拡大テーマにも結び付く、会員交流の実現を目指したい。

(議長) 新規の入会者は、是非部会に入会することを、条件とは言わないが極力所属されるよう勧めたい(事務局からも、そのようにお願いしている)。

会員同士の接点を増やすためにも、会員企業の部会参加を進めて頂きたい。

(3) 審議事項 上程無し

(4) 連絡事項

- 1) 岸本理事より、シンポジウム「静大発“ふじのくに”創生プランのこれまで。そしてこれからを探る」チラシに基づいた説明と参加の依頼があった
- 2) ゴルフ大会予定(4/15(水)) 富士見ヶ丘、リハ`富士等 今回からは協会会員に広く募集をかけて行きたい
- 3) 次回理事会:2月25日(火) 16:00~17:00
会場:静岡商工会議所 401 会議室